

第2回 豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会

1. 開催日時 平成27年6月3日（水）午後2時00分～午後3時15分
2. 開催場所 豊橋市役所東41会議室（東館4階）
3. 出席者 委員6名（伊藤委員、大久保委員、功刀委員、諏訪委員、富田委員、村松委員）
豊橋市4名（野尻総務部長、木和田行政課長、小林行政課主幹、野中行政課長補佐）
4. 欠席者 石原委員長、世羅副委員長
5. 会議概要 以下のとおり

発言者	要旨
事務局 (行政課長)	定刻となりましたので、ただ今から、第2回豊橋市行財政改革プラン外部検証委員会を開催いたします。 開会にあたりまして総務部長の野尻より一言ご挨拶を申し上げます。
総務部長	本日もご多忙の中、出席いただき誠にありがとうございます。 またゴールデンウィークを挟んでのお忙しい中、書類評価にご協力くださりありがとうございました。 本日の議事は、書類評価結果についてです。ご承知のとおり、今年度は新たな行革プラン策定の年にあたります。現プランの取組がどうであったのか、課題は何なのかについてしっかりと整理することが新たなプランの策定に向けての礎となります。その整理には内部の視点に加え、外部の客観的な視点が重要です。委員会としての外部評価の決定にあたり、皆様からの評価結果をとりまとめした立場からいくつか提案させていただきたいと思いますが、本日も忌憚のないご意見を伺えればと思います。何卒よろしくお願い申し上げます。
事務局 (行政課長)	それでは、ここからは石原委員長に進行をお願いしたいところですが、本日は石原委員長、世羅副委員長が欠席ですので、諏訪委員に進行をお願いできればと思います。 諏訪委員長代理、よろしくお願いいたします。
諏訪委員長 代理	それでは、ただいまから議事に入ります。次第2にございます、「書類評価結果について」、事務局より説明を願います。
事務局	《資料1「書類評価結果について」を説明》

発言者	要 旨
(行政課主幹)	
石原委員長	ただ今の説明について、ご意見・ご質問はありますか。
村松委員	5年間の総括に対する我々の評価に開きがあるという点について、事務局が5つに分類し、2の「目標は達成しているものの、今後見直しが必要と考えられるもの」については「妥当」とする点については理解できる。ただし、我々がコメント欄に記載した内容を担当部局で十分に検討し、次の行革プランに生かしてほしい。
富田委員	事務局案に特に異論はない。
伊藤委員	事務局案は理解できる。というのも、我々の基本的な役割は過去の取組に対して、どうであったかということの評価すべきであって、さらに言えば、先のことに対して評価は難しい。
功刀委員	先回の委員会では、5年間の総括にあたり、事務局より次期プランに向けたアドバイスも含めて評価して欲しいと要望があったと記憶している。未来に対して評価するということは大変難しいことから、過去の成果に対して評価することを基本とすることに異論はないが、先回の事務局からの要望とは矛盾することになり、整合を図る必要がある。そこで提案だが、先回の事務局からの要望を撤回し、「妥当」「要検討」の評価にあたっては、事務局案のとおりこれまでの成果に対して評価することとし、コメント欄においては、次期プランに向けてアドバイスするとしてはどうか。
大久保委員	私も先回の委員会で事務局から次期プランに向けて評価して欲しい言われたことを記憶している。また、事務局案も理解できる。一方で、評価シートNo. 2について、今回の事務局案によると「妥当」になるわけだが、内容を追っていくと「妥当」とするには無理があるように思う。そこで、他の委員がどう考えるか意見を伺いたい。
諏訪委員長代理	ありがとうございました。事務局案については委員会として了承することとします。ただし、評価シートNo. 2については、大久保委員より再検討して欲しいとの意見でしたので、みなさんに諮りたいと思いますが、本日は石原委員長が欠席されておりますので、まず石原委員長にもう一

発言者	要 旨
	度確認し、それでもなお、石原委員長が「妥当」と判断される場合は、他の委員に諮るといえるのはどうでしょうか。
大久保委員	それで結構です。
諏訪委員長代理	ありがとうございます。それでは、その他にこれまでの評価に対して意見等ありましたら伺いたいと思います。
村松委員	正直、評価シートに記載されている情報だけでよく評価してきたと思う。ただ、その中でも世間から見れば考えにくい目標を立てている取組が見受けられた。背伸びして到達する目標は目標とは呼ばない。目標設定に関して、行政課が関与すべきであったと考える。
富田委員	毎年評価をしてきて、やっとわかってきたというのが実感である。
伊藤委員	取組の単位が小さすぎて判断しづらいものがある。全体を把握できるような工夫が欲しい。
大久保委員	字面だけでは評価が難しい。私としては、年度ごとの評価よりも、全体像が把握しやすかった分、5年間の総括の方が評価しやすかった。
功刀委員	行財政改革の取組として取り上げられたということは、課題があったからであるはずだが、その課題がわからないために評価が難しかった。大久保委員が5年間の総括に対する評価の方がしやすかったという発言をされたが、複数年度の記載内容を読んでいくうちに、おそらくこれが課題なのだろうということがわかったために容易であったのではと想像する。今後は課題を明確にして欲しい。
諏訪委員長代理	本日の議事は以上になりますが、この他に何かご意見・ご質問等ありましたら、お願いします。特にないようですので、これで本日の外部検証委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。